

## 第1回地方独立法人加古川市民病院機構活性化協議会・委員会 議事の概要

### 1 日時

平成23年8月22日(月)

13時00分～14時30分

### 2 場所

ひょうご共済会館 5階 ツツジ

### 3 出席者

(活性化協議会委員)	氏名
加古川市代表(加古川市長)	樽本 庄一
加古川市議会代表(加古川市議会議長)	中山 廣司
医師会代表(加古川市加古郡医師会会長)	河合 勝
加古川商工会議所代表(加古川商工会議所名誉会頭)	西川 隆雄(欠席)
地域住民代表(加古川市町内会連合会会長)	大淵 俊彦
兵庫県代表(兵庫県東播磨県民局長)	福田 好宏
神戸大学代表(神戸大学大学院医学研究科・医学部医学研究科長・医学部長)	根木 昭(欠席)
神戸大学代表(神戸大学医学部附属病院院長)	杉村 和朗

(活性化委員会委員)	氏名
加古川市代表(加古川市副市長)	藤原 崇
地方独立行政法人加古川市民病院機構代表(理事長)	宇高 功
地方独立行政法人加古川市民病院機構代表(加古川西市民病院院長)	石川 雄一
地方独立行政法人加古川市民病院機構代表(加古川東市民病院院長)	大西 祥男
医師会代表(加古川市加古郡医師会副会長)	中田 邦也
兵庫県代表(兵庫県健康福祉部医監)	太田 稔明
神戸大学代表(神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野教授)	東 健
神戸大学代表(神戸大学大学院医学研究科内科学講座循環器内科学分野教授)	平田 健一
神戸大学代表(神戸大学大学院医学研究科外科学講座肝胆膵外科学分野教授)	具 英成(欠席)
神戸大学代表(神戸大学大学院医学研究科外科系講座脳神経外科学分野教授)	甲村 英二(欠席)
神戸大学代表(神戸大学大学院医学研究科外科系講座産科婦人科学分野教授)	山田 秀人
神戸製鋼所代表(神戸製鋼所加古川製鉄所副所長)	岩崎 有恒

(事務局)  
地方独立行政法人加古川市民病院機構 機構事務部  
加古川市企画部秘書室特命チーム

#### 4 議事内容

##### (1) 開会

会議の公開、非公開等について、以下のとおり決定した。

活性化協議会	会議公開、資料公表 ※案件によっては、会議非公開、資料非公表とすることができる。
活性化委員会	会議非公開

いずれも、会議要旨をホームページにおいて公開する。

##### (2) あいさつ

- ① 加古川市 樽本市長よりあいさつ
- ② 神戸大学医学部附属病院 杉村院長よりあいさつ
- ③ 神戸大学大学院医学研究科 根木学科長からのメッセージ代読

##### (3) 自己紹介

各委員、事務局の自己紹介

##### (4) 活性化協議会及び活性化委員会の役割等について

資料に基づき、事務局から説明

##### (5) 役員の選任について

要綱に基づき、委員の互選により以下のとおり決定した。

活性化協議会	会 長 樽本委員 副会長 杉村委員
活性化委員会	委員 長 宇高委員 副委員長 石川委員

##### (6) 報告事項

- ① 地方独立行政法人加古川市民病院機構の運営状況について  
資料に基づき、事務局から説明
- ② 新統合病院の建設予定地について  
資料に基づき、事務局から説明
- ③ 新統合病院の医療機能の検討について  
資料に基づき、事務局から説明

##### (7) 意見交換（要旨）

- ・このような協議の場で、地域における新統合病院の在り方を検討していくことが重要である。
- ・医師会と法人との間で新統合病院の在り方を協議する予定としている。診療所、病院が相互に連携を図りながら、地域の医療向上を目指したい。
- ・単に新統合病院の在り方を検討するのではなく、将来の地域医療を考える中で新統合病院の役割等を議論する必要がある。
- ・住民に対し、質の高い医療の提供を目指し、地域内の医療連携を図る体制とともに2病院を一体的に運用する体制を新統合病院開院までの間に整えていく必要がある。

- ・病床稼働率や収支の改善なども大切だが、様々な関係者が団結して、住民に良い医療を提供し、また医療従事者が集まる全国のモデルとなるような病院づくりを進めていくことが重要である。
- ・新統合病院の開院を待たずに、診療科目の相互連携を一層進めていく中で、法人内の人的資源の集約も考えていく必要がある。
- ・新統合病院に期待する市民の声も多く、一日も早い完成をお願いする。
- ・新統合病院の整備予定地は、JR 加古川駅から近く、立地のいい場所だが、近くに加古川が流れており、防災対策も十分に講じていただきたい。
- ・広域的に見ると、県立加古川医療センターや北播磨総合医療センターなど、高度専門医療を提供する病院が整備されているので、新統合病院における医師等の医療従事者の確保が重要である。
- ・小児・周産期医療について、一次救急も含めて広域的に対応せざるを得ない状況にある。
- ・高度専門病院から身近な医療機関まで様々な役割分担の下、地域の中で適切な医療をいつでも受けられる環境となるように、この活性化協議会・委員会に取り組みたい。
- ・新統合病院の整備予定地の最寄りの国道2号は東行一方通行のため、西への延伸計画がある百貨店南側道路（市役所線）が東から西へ向かう病院へのアクセスとして最適だと考える。

(8) その他

(9) 閉会

地方独立行政法人加古川市民病院機構 宇高理事長より閉会のあいさつ

(10) 事務連絡